

～福井豪雨から10年～

九頭竜川流域を守ったダムを見に行こう！

－森と湖に親しむ旬間行事運営報告－

大きな被害をもたらした福井豪雨から今年で10年。地域の皆さんに、防災意識の向上及び再認識をしていただくとともに、森と湖に親しみ身心をリフレッシュしながら、森林やダムの重要性について理解を深めていただくことを目的として、「森と湖に親しむ旬間」行事運営連絡会(福井森林管理署、福井県、大野市、電源開発(株)、北陸電力(株)、関西電力(株)、国土交通省九頭竜川ダム統合管理事務所等)では、福井県内のダム及び長野発電所の見学会、各関連機関のパネル展示などを開催しました。

今回も水上巡視をはじめ紙飛行機とばし(水溶紙)や、災害対策車(衛星通信車及び照明車)の展示及び照明車の操作などの体験型のイベントを実施し、一般の方々がより興味をもっていただけるダム見学会になるよう工夫しました。

当日は、好天にも恵まれ絶好のイベント日和となり、多くの家族連れや県外からの来場者など約780人の見学者を迎える盛大なイベントとなりました。

また今回初の催しとして、上下流地域間の交流を目的とした「日帰り留学」を実施(真名川ダム会場の同時開催行事(別会場))し、上下流地域から約60人の子供達(親子)に参加していただきました。普段なかなか体験することの出来ない自然体験を通しての交流は、貴重な連携強化の促進ならびに人材育成の場となりました。

平成26年7月26日(土) ～真名川ダム会場～

九頭竜川ダム統合 管理事務所

キャットウォーク・放水・噴水・堤体内通路などの見学、パネル展示を通じて、真名川ダムの大スケールを体感しつつ、その構造や役割、機能を学んでいただきました。

昨年から実施の「紙飛行機とばし」は、今回も好評で沢山の紙飛行機がダム湖にフライトしました。

流木プレゼントは、生け花や置物に加工するため、多くの方が来場されました。

あわせて流木から作った薪・堆肥プレゼントも、例年どおり大盛況でした。

また、福井豪雨から10年と題して、九頭竜川ダム統合管理事務所の玄関ホールにおいてパネルを掲載し、来所される方々へも防災意識の向上等を図りました。



ダム見学会①



ダム見学会②



紙飛行機とばし



パネル展示



流木・薪プレゼント



堆肥プレゼント



事務所玄関ホール

【問い合わせ先】



国土交通省 近畿地方整備局
〒912-0021

九頭竜川ダム統合管理事務所 管理課
大野市中野29-28 TEL 0779-66-5300(代)

～福井豪雨から10年～

九頭竜川流域を守ったダムを見に行こう！

－森と湖に親しむ旬間行事運営報告－

福井森林 管理署



森のマスクットづくり



スマートボールゲーム

福井県



福井県が管理するダムの紹介



福井県の森林保全の取り組み紹介

北陸電力(株)



再生可能エネルギーの導入に向けた取組・環境保全活動の紹介



【問い合わせ先】



国土交通省 近畿地方整備局

九頭竜川ダム統管理事務所 管理課

〒912-0021 大野市中野29-28 TEL 0779-66-5300(代)

～福井豪雨から10年～

H26.7.31

九頭竜川流域を守ったダムを見に行こう！

－森と湖に親しむ旬間行事運営報告－

平成26年7月27日(日) ～九頭竜ダム・長野発電所会場等～

九頭竜川ダム 統合管理事務所

今回も長野発電所まで通じる冬季連絡通路を開放し、高低差128m・639段の階段に挑戦する見学者を多数お迎えしました。連絡通路の小窓から見える荒々しい岩肌の九頭竜ダムを眺めながらゆっくり降りられる方や元気よく駆け上がる方など、それぞれのペースで連絡通路を満喫されていました。

昨年から実施の「水上巡視体験」は、今回も幅広い年齢の方に大人気で、普段みることができないダム湖面からの風景に感動されていました。また、災害発生時に現場で活躍する災害対策車展示では、照明車の操作を体験でき、実際の動く姿を見た子供達は大喜びでした。

恒例の流木プレゼント、流木工作教室は、自然が作った芸術的な流木を生かした工作を楽しむ姿が多く見られ例年どおり大盛況でした。



水上巡視体験①



水上巡視体験②



パネル展示



冬季連絡通路



災害対策車の展示



照明車の操作体験



記念撮影パネル



流木工作教室で製作



流木プレゼント

【問い合わせ先】



国土交通省 近畿地方整備局

〒912-0021

九頭竜川ダム統合管理事務所 管理課

大野市中野29-28 TEL 0779-66-5300(代)

～福井豪雨から10年～

九頭竜川流域を守ったダムを見に行こう！

－森と湖に親しむ旬間行事運営報告－

大野市



大野市による観光紹介①



大野市による観光紹介②

電源開発(株) 長野発電所



長野発電所の見学①



長野発電所の見学②

【関連行事】 NPO法人 九頭竜 自然楽校 カヌー教室



カヌー教室①



カヌー教室②

【協賛行事】 森湖カップ (6月28・29日 開催)



事務所長の祝辞



試合の様様

【問い合わせ先】



国土交通省 近畿地方整備局

九頭竜川ダム統管理事務所 管理課

〒912-0021 大野市中野29-28 TEL 0779-66-5300(代)

～福井豪雨から10年～

九頭竜川流域を守ったダムを見に行こう！

—森と湖に親しむ旬間行事運営報告—

平成26年7月26日(土) ～麻那姫湖青少年旅行村(中島公園)会場～

九頭竜川ダム 統合管理事務所

【関連団体】

NPO法人ドラゴンリバー交流会、
福井森林管理署、大野市漁業協同組合、
防災エキスパート等



石の文鎮づくり “川の自然石を拾って、世界に一つだけの文鎮を作りました。”



魚つかみ “清流に泳ぐ魚を手で捕まえて、その場で焼いて食べました。”



川の健康診断 “川の生物を採取して、川の水がきれいかを調べました。”



丸太切り・コースター作成 “天然の木を切ってコースターを作りました。”



今回初の取組となった、日帰り留学。
日帰り留学とは、上下流域地域の子供達(親子)に大野市へ短期留学をしてもらい、自然体験を通じた交流と連携の強化、防災意識の向上並びに再認識していただく行事です。

今年は福井豪雨から10年。防災意識の向上並びに再認識していただく良い機会と捉え、日帰り留学の中でいろいろな行事を行いました。

石の文鎮づくり、魚つかみ、川の健康診断では、子供達が川の中に入ってびしょ濡れになりながらも夢中で材料を採取したり水生生物調査を行い、水の大切さ等を再認識していただきました。

丸太切り・コースター作成では、間伐材を使用したコースターを作成することで、水源林保全の必要性などを再認識していただきました。

また実施場所となった麻那姫湖青少年旅行村は、真名川ダム建設の契機となった西谷水害(奥越豪雨)が起こった場所。福井豪雨10年目の節目である今年、防災エキスパートの皆様より西谷水害、福井豪雨の恐ろしさ、防災の大切さについて講演していただき、防災意識の向上並びに再認識の良い機会となり、子供達、親御さんとも食い入るように講師の話に耳を傾けていました。



青空教室 “奥越豪雨(西谷水害)と真名川ダムについて学びました。”

【問い合わせ先】



国土交通省 近畿地方整備局

九頭竜川ダム統合管理事務所 管理課

〒912-0021 大野市中野29-28 TEL 0779-66-5300(代)